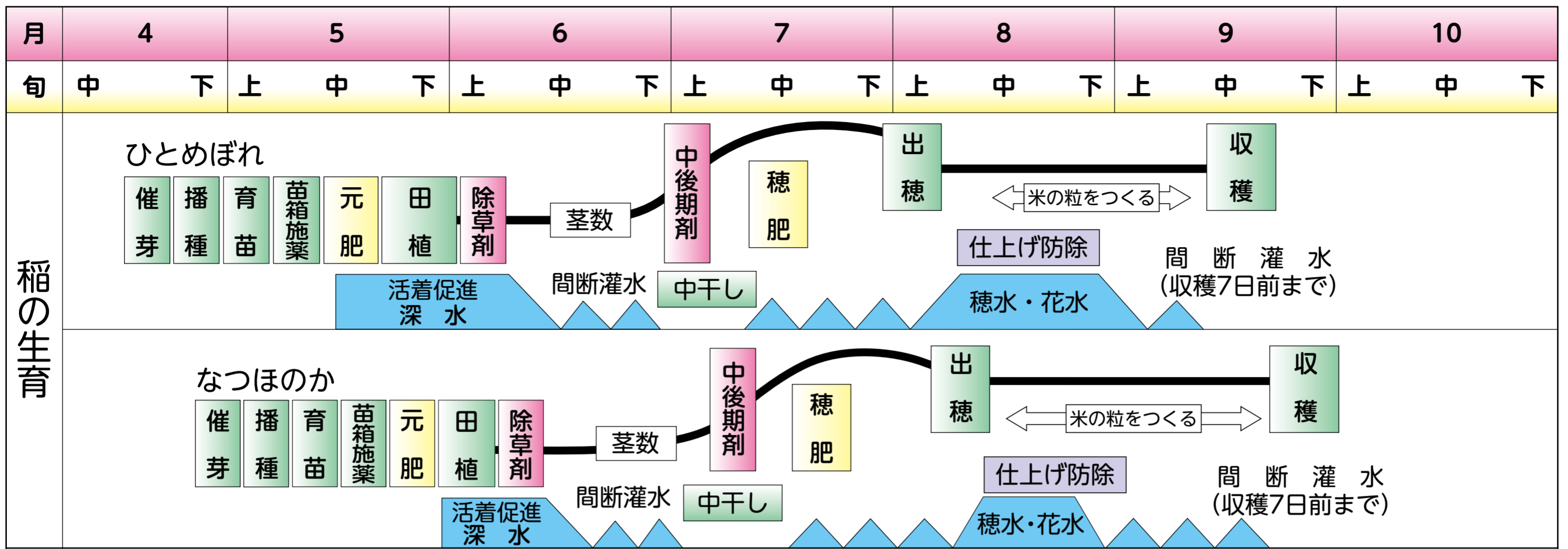


令和6年度 水稻栽培暦 (湯布院) おおいた中部宮農経済センター



栽培のポイント

播種 塩水選：うるち比重 1.13(塩:4.0kg/水:20ℓ)
 種子消毒は必ず実施する
 播種：薄播き(150g(催芽籾)/箱)

田植 45~50株/坪
 一株の苗本数は3~4本
 株間22~25cmが目安

中干し ひとめぼれは7月上旬
 なつほのかは7月中旬
 茎数が1株20本程度確保できたら田面にヒビが入る程度に干す(ヒビの幅:約1cm)

出穂 赤丸部分の穂が「出穂」状態
 ほ場の半分がこの状態なら「出穂期」

収穫 青籾が2割程度
 落水は収穫7日前

種子消毒
 ●薬剤での消毒(24時間浸漬)
 テクリードCフロアブル(水20ℓに100ml)
 ※もみ枯細菌、苗立枯、ばか苗、いもち +スミチオン乳剤(水20ℓに20ml)
 ※シンガレセンチュウ
 ●温湯消毒(60℃10分)
 イネミズゾウムシ 紋枯病

苗箱施薬(50g/箱)
 ●防人箱粒剤
 ※播種時(覆土前)~移植当日
 ※ウンカ類(長期残効)
 いもち病等に効果あり
 ●スクラム箱粒剤
 ※播種時(覆土前)~移植当日
 ※ウンカ類(長期残効)
 紋枯・いもち病等に効果あり

施肥

※一発肥料 **一発** ※施肥は、出来るだけ田植日近くに行う
 超一発DX80 N12-P10-K10 60kg/10a
 BB一発033 N20-P13-K13 30kg/10a
 苦土入りエムコート477(90日タイプ) ひとめぼれ・なつほのか:40kg/10a

※分施 **元肥** 化成肥料10-16-16
 ひとめぼれ・なつほのか:30kg/10a
 化成肥料12-18-14
 ひとめぼれ・なつほのか:25kg/10a

穂肥 ※出穂の20日前
 化成肥料16-0-16
 20kg/10a

※一発肥料は追肥しません

土づくりのために改良資材を投入しましょう

改良資材名	散布量(10a当たり)	特徴
山香有機の華	500kg	牛ふん堆肥
ケイカル	200kg	ケイ酸・苦土
ミネラルG	200kg	ケイ酸・苦土・鉄分
とれ太郎	60kg	ケイ酸・苦土・リン酸
土改王	45~90kg	ケイ酸・苦土・リン酸・カリ

除草剤

初期剤 (使用時期に注意! 散布後7日間は落水禁止)
 ●デルカット乳剤 ※植代時(移植4日前まで)

中前期一発剤 薬剤抵抗性雑草の発生を防ぐため、できるだけ前年と異なる薬剤を選択しましょう。
 ●流星(1キロ・ジャンボ・フロアブル)
 ※移植直後~ノビエ3葉期(1キロ剤・フロアブルは田植え同時処理可)
 ●サラブレッドKAI(1キロ剤・ジャンボ剤・フロアブル)
 ※移植直後~ノビエ2.5葉期(1キロ剤・フロアブルは田植え同時処理可)

中後期剤
 ●ジャスタ(1キロ剤・ジャンボ剤・フロアブル)
 ※移植直後~ノビエ3.5葉期(1キロ剤・フロアブルは田植え同時処理可)

イネ科雑草
 ●クリンチャー1キロ剤 ※移植後7日~ノビエ4葉期(但し収穫30日前まで) ※湛水散布
 ●クリンチャーEW(茎葉処理) ※移植後20日~ノビエ6葉期(但し収穫30日前まで) ※湛水または落水して散布
広葉雑草
 ●バサグラン粒剤 ※移植後15~55日(但し収穫60日前まで) ※落水またはごく浅く湛水して散布
イネ科・広葉雑草
 ●クリンチャーバスME ※移植後15日~ノビエ5葉期(但し収穫50日前まで) ※落水またはごく浅く湛水して散布

移植後の除草剤散布のポイント
 7日間は水を出し入れしない! 間断灌水
 2~3日田面が出てても除草効果に影響なし
 深水 除草剤散布 自然な減水

病害虫防除

いもち病防除
 ●コラトップ粒剤5(3~4kg/10a)
 ※葉いもち:初発10日前~初発時
 ※穂いもち:出穂30日前~5日前まで
 ●ブラシン粉剤DL(3~4kg/10a)
 ※内穎褐変病などにも効果(4kg散布時)
 ※収穫7日前まで

仕上げ防除
 ●ビームエイトスタークルゾル(1,000倍希釈 水60~150ℓ/10a)
 ※いもち病、カメムシ・ウンカ類
 ツマグロヨコバイに効果
 ※収穫7日前まで

ジャンボタニシ対策
 ●スクミノン(1~4kg/10a)
 ※移植後被害発生前(収穫60日前まで)

稲こうじ病防除
 ●Zポルドー粉剤DL(3~4kg/10a)
 ※出穂10日前まで
 ※薬害を生じやすいので
 使用時期に注意してください

【作業日誌】

項目	実施日	使用肥料・農薬・量など
種子消毒	月 日	
播種	月 日	
苗箱施薬	月 日	
土改材	月 日	
元肥	月 日	
田植え	月 日	
除草剤	月 日	
穂肥	月 日	
防除	月 日	
収穫	月 日	